デジタル田園タウン構想事業
基本方針

目次

1. はじめに
   (1)策定の背景と趣旨
   (2)なぜ、デジタルなのか？
   (3)なぜ、デジタル田園タウンなのか？
   (4)事業名の確定
2. 方針の位置付け
3. デジタル田園タウン構想の全体像
   (1)取組イメージ
   (2)矢吹町DX推進の基本理念
4. デジタル田園タウン構想の推進のための取組
   (1)意思決定の方法
   (2)行政DX
   (3)行政DX ロードマップ
   (4)地域DX
   (5)地域DX ロードマップ

政府は、令和3年11月9日に
「**デジタル田園都市国家構想実現会議**」の開催を発表。**デジタル実装を通じた地方活性化を推進**するため、協議が加速化。

世界全体の潮流は…デジタル前提へシフト

グローバル化の進展、ブロードバンドの普及、流通データ量の著しい増加

日本の行政は…デジタル前提へ舵を切り始めている

行政経営の存続のための課題が顕在化

関連法案の一括成立、公布

誰ひとり取り残さない、住民にやさしい地域社会の実現のため、
(仮称)新田園都市構想事業を核とした選ばれるまちづくりを目指す

Ⅰ.はじめに (2) なぜ、デジタルなのか？

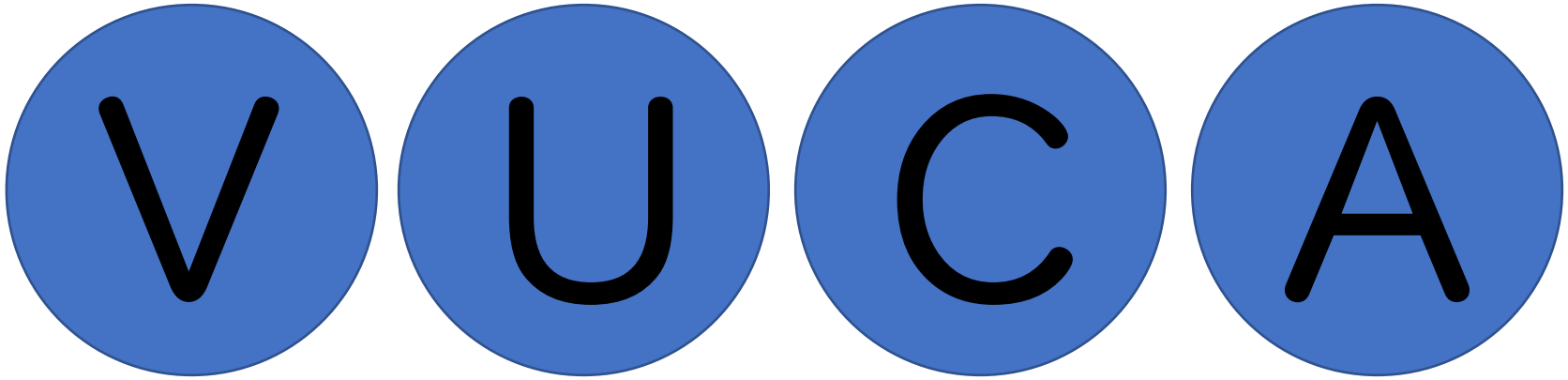
世界全体の潮流は…デジタル前提へシフト

グローバル化の進展、ブロードバンドの普及、流通データ量の著しい増加

日本の行政は…デジタル前提へ舵を切り始めている

行政経営の存続のための課題が顕在化

関連法案の一括成立、公布



※「ブーカ」

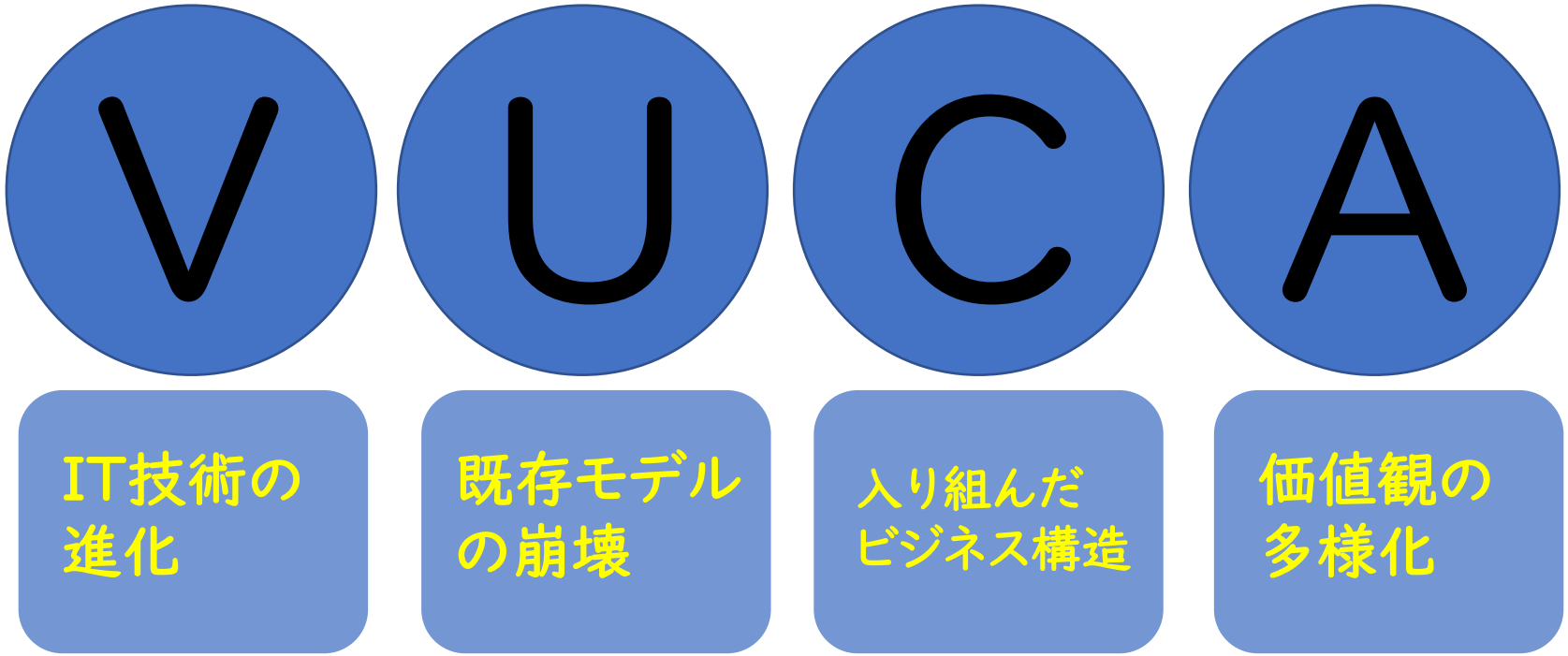
Volatility（変動性・不安定さ）

Uncertainty（不確実性・不確定さ）

Complexity（複雑性）

Ambiguity（曖昧性・不明確さ）

「**先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態**」



誰ひとり取り残さないために、地域課題を包括的に捉え、
持続可能な地域の再構築・経済発展を実現する。
そのためのデジタル活用。

Ⅰ.はじめに (3) なぜ、デジタル田園タウンなのか？

コロナ禍において、テレワークやオンライン会議など、デジタル技術の利活用が進み、将来に向け、デジタルの重要性や可能性などが期待される社会環境の浸透

↓

デジタル技術によって地方と都市では、同様の社会基盤が整い、より豊かな環境で幸せが感じられる生活が求められている。

「（仮称）新田園都市構想事業」については、名称を次のとおりとします。

デジタル田園タウン構想事業

2.方針の位置付け、対象期間

計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
矢吹町まちづくり総合計画	第6次 後期基本計画（R2～R5）			第７次計画	
デジタル田園タウン構想事業	実施期間（R3～R5）			必要に応じて見直し	
矢吹町DX推進計画	実施期間（R3～R5）			必要に応じて見直し	

デジタル田園タウン構想事業基本方針…矢吹町DX推進の「**羅針盤**」

短期で実施可能なものは令和4年度予算化。長期で実施する必要があるものは、実施期間内のロードマップを明確化。令和6年度以降は、第7次矢吹町まちづくり総合計画の内容を踏まえる。

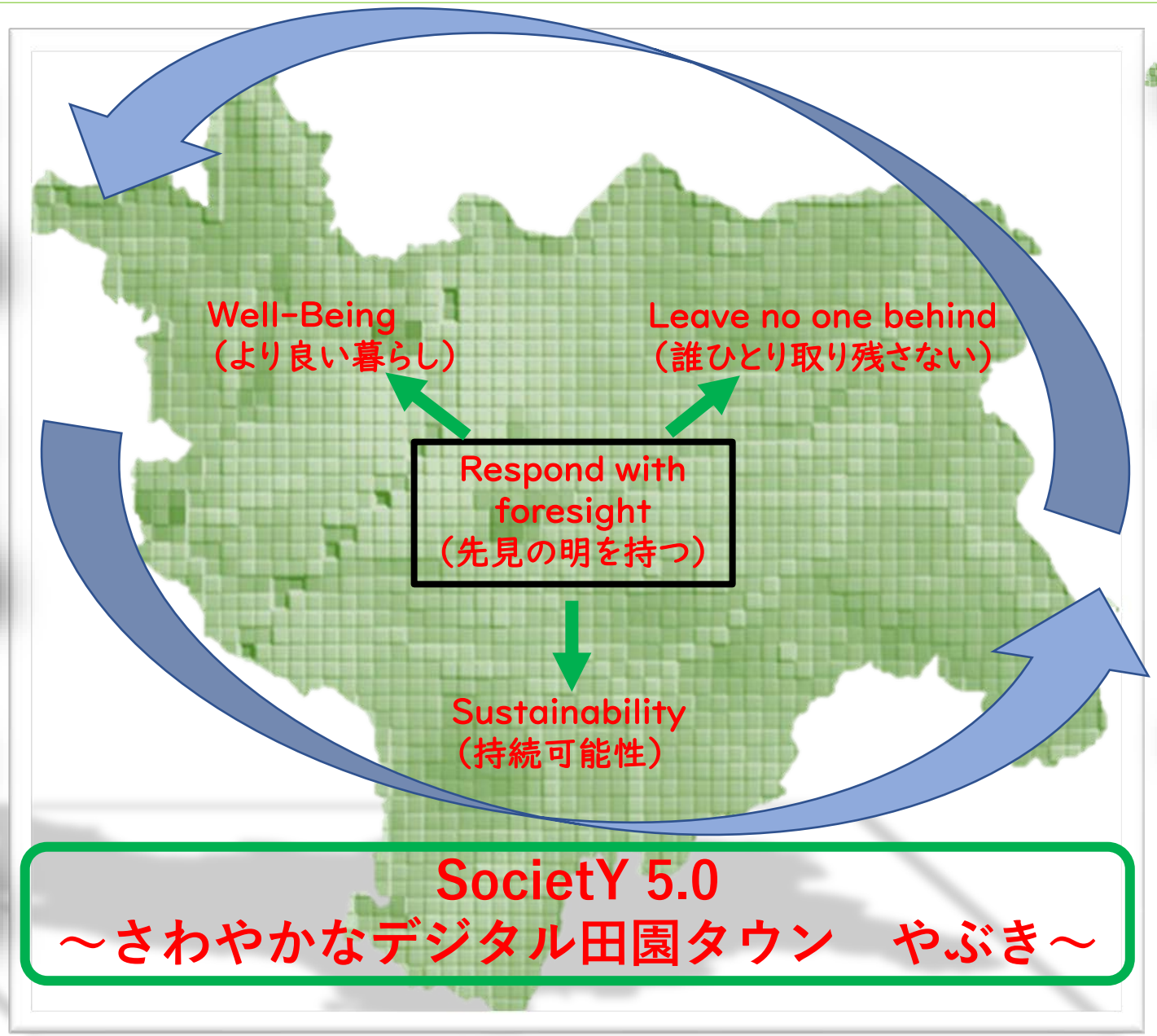
矢吹町DX推進計画…デジタル田園都市構想事業基本方針の「**手順書**」

3.デジタル田園タウン構想の全体像　(1)取組イメージ

農業政策
・遊水地計画の推進
・遊休農地の解決
・担い手不足の解消

企業誘致
・働く場の確保
・地方移転

高齢者支援
・デジタル活用支援
・障がい者支援
・各種支援策の充実



移住促進
・人口減少対策
・空き家対策
・若者定住策の充実

子育て支援
・待機児童の取組
・各種支援策の充実

防災・減災
・安全、安心なまち
・インフラ整備、維持管理
・地域コミュニティの推進

3.デジタル田園タウン構想の全体像　(2) 矢吹町DX推進の基本理念

SocietY 5.0 ～さわやかなデジタル田園タウン　やぶき～

町民　議会　事業者　矢吹町関係者

デジタル技術の浸透による
経済発展・社会的課題の解決

方針①　国のDX推進計画で定める事項の着実な推進

方針②　デジタル田園タウンの推進

役場

行政DX

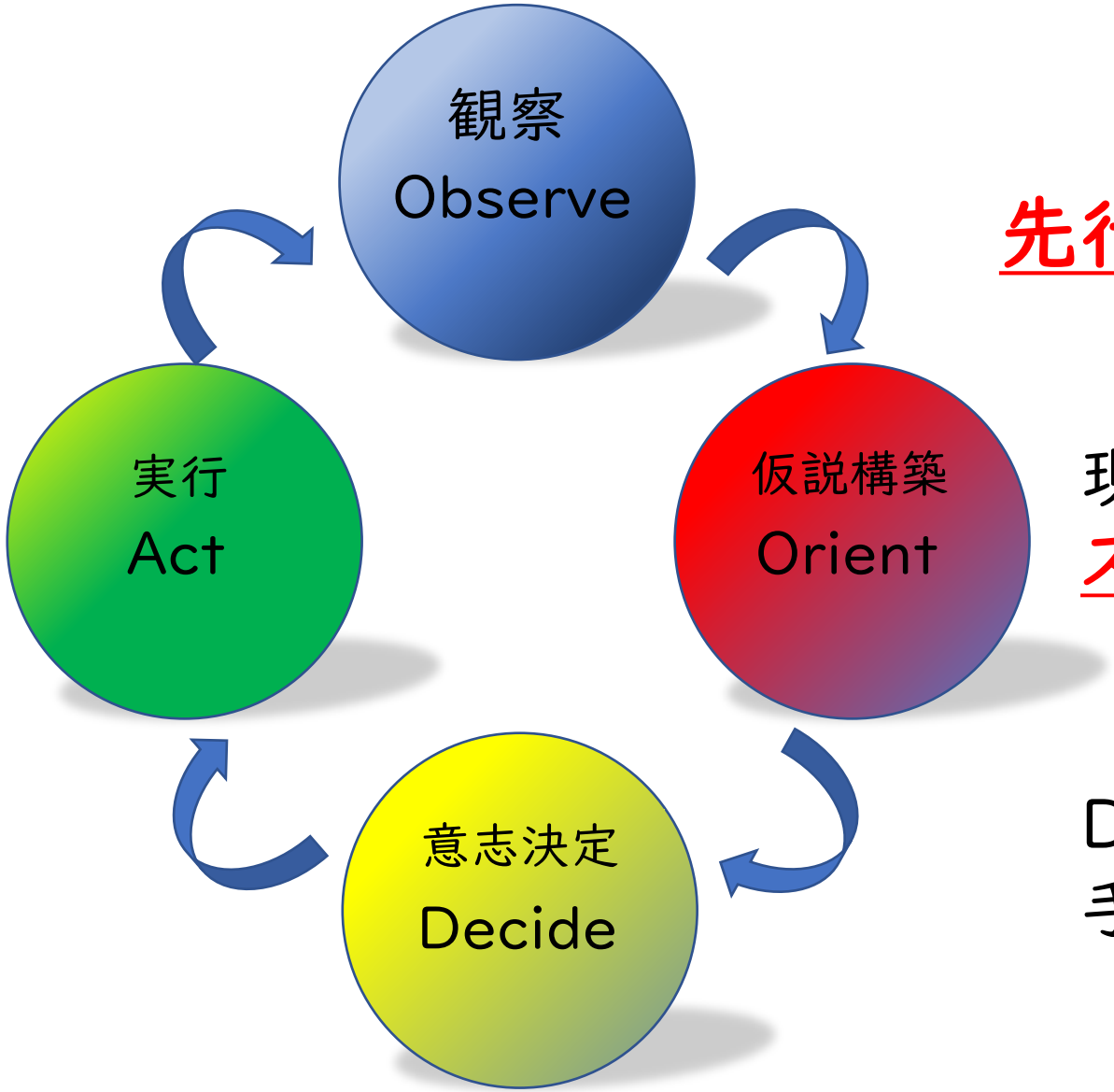
- 町民の利便性向上
- 行政の高度化・効率化
- 組織の変革

連動

地域DX

- デジタル活用支援
- 安心・安全の確保
- 魅力ある地域づくりの推進

4.デジタル田園タウン構想の推進のための取組（1）意思決定の方法



先行きが不透明で、将来の予測が困難

↓

現状のリソースから**最善の判断**を下し、
スピード感を持って行動することが重要

↓

DX時代における効果的な意思決定の
手段である「**OODAループ**」を活用
ウーダ

行政DX

「**職員の意識改革と行動変容**」と「**業務の棚卸し（可視化）とBPR**」を軸に

↓

各具体策に着手

■行政サービスの向上

・書面規制、押印、対面規制の見直し
・行政手続のオンライン化
・基幹業務システム標準化
・マイナンバーカード普及促進
・オープンデータの推進
・電子入札の導入
・情報発信アプリの拡張
・広報紙のデジタル化の拡張

■公務能率の向上

・ペーパーレス化の推進
・AI,RPAの利用推進
・電子決裁の推進
・地理情報システム更新
・公用車、庁舎管理のデジタル化
・インフラ管理のデジタル化
・業務システムのデジタル化拡張

■「ウィズコロナ」対策

・Web会議端末の増設
・Web会議の拡充
・テレワーク環境整備
・キャッシュレス決済の拡張
・Webからの口座振替申込環境構築
・チャット機能の活用推進

■デジタル基盤整備

・セキュリティ対策の徹底
・ネットワーク環境整備及び維持管理（Wi-Fi、イントラ、IRU光ケーブル　等）
・ファイルサーバの機能拡張
・デジタル関連機器・設備の更新・管理維持計画策定
・組織体制の強化（デジタル部門、外部人材）

4.デジタル田園タウン構想の推進のための取組 (3) 行政DX ロードマップ

地域DX

「誰ひとり取り残さないこと」と「デジタル化の恩恵を実感できること」を軸に

↓

各具体策に着手

■矢吹町特有の課題を解決するためのデジタル実装

・テレワーク、ワーケション拠点の整備推進
・データ活用推進による成長産業の創出
・スマートフォン等を使用した住民参加型インフラ管理
・防災、減災のための環境整備
・公共交通、物流の確保
・教育デジタル化の拡張
・医療、福祉デジタル化の推進

■矢吹町内のデジタル人材の確保

・デジタル活用推進ボランティア制度創設の検討
・地域の高校、大学と連携したデジタル人材育成プログラム創設の検討
・デジタル活用勉強会の開催の検討（理論から実践まで）
・外部人材招へいの検討

■矢吹町のデジタル実装を支えるデジタル基盤の整備

・オープンデータの推進
・ローカル5G、Wi-Fi等のデジタルインフラ整備
・既存のデジタルインフラ（光ファイバケーブル）の維持管理
・マイナンバーカード普及促進

■持続可能であり、包括的かつ相互性のある地域社会の実現

・情報共有、報告、相談受付が可能なサービスの整備推進
・広報紙のデジタル化の拡張
・高齢者等へのデジタル活用支援体制の確立
・空き家、移住定住問題解決のための包括支援体制の確立（組織面、制度面、システム面）

4.デジタル田園タウン構想の推進のための取組 (5) 地域DX ロードマップ

令和３年度	令和４年度	令和５年度
	テレワーク、ワーケション拠点の整備促進	
	データ活用推進による成長産業の創出	
	スマートフォン等を使用した住民参加型インフラ管理	
	防災、減災のための環境整備	
公共交通、物流の確保		
教育デジタル化の拡張		
	医療、福祉のデジタル化の推進	
	デジタル活用推進ボランティア制度創設の検討	
	地域の高校、大学と連携したデジタル人材育成プログラム創設の検討	
	デジタル活用勉強会の開催の検討（理論から実践まで）	
	外部人材招へいの検討	
オープンデータの推進		
ローカル5G、Wi-Fi等のデジタルインフラ整備		
既存のデジタルインフラ（光ファイバケーブル）の維持管理		
マイナンバーカード普及促進		
	情報共有、報告、相談受付が可能なサービスの整備推進	
広報紙のデジタル化拡張		
	高齢者等へのデジタル活用支援体制の確立	
	空き家、移住定住問題解決のための包括支援体制の確立（組織面、制度面、システム面）	